

平成 30 (2018) 年度
東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 修士課程 入学志願者案内

1. 出願資格

入学志願者は大学院出願資格（詳細は工学系研究科修士課程学生募集要項を参照）を有していなければならない。ただし、その専門分野および資格取得年次は問わない。
 なお、修士課程の入試は今回だけである。（年 1 回）

2. 希望指導教員と出願書類について

大学院入学者は指導教員のもとで研究を行うので、入学志願者は研究の指導を希望する教員名（第一希望、第二希望、第三希望、各 1 名ずつ）を、3 ページに示す指導教員の一覧から選び、別紙 1・B 欄に記入すること。また、別紙 1・A 欄（将来の研究について）には、希望する研究テーマについて記述すること。別紙 1 は出願時に、他の出願書類と共に送付すること。

3. 募集人員と入学時期

平成 30 年度の建築学専攻・修士課程の募集人員は 32 名である。なお、建築学専攻では、入学後の研究指導が特定の教員に偏ることを避けるため、教員一人当たりの受入人員に制限を設けている。合格者の入学時期は、通常、平成 30 年 4 月である。ただし、工学系研究科修士課程学生募集要項にも記述があるが、平成 29 年 9 月までに大学を卒業あるいは卒業見込みであれば、平成 29 年 9 月に入学することが可能である。

4. 選抜方法

以下に示す筆記試験及び口述試験を行い、受入予定者を選抜する。

(A) 筆記試験

試験科目	試験時間	適用
1. 外国語	2.5 時間	英語 (TOEFL (ITP) で実施する。)
2. 専門科目		
①専門課題 I	3 時間	①は建築学に関する基礎的な課題である。
②専門課題 II	3 時間または 4 時間	②については次の 4 群の中からいずれか 1 群を選択して解答する。選択する群を、出願時に別紙 1・C 欄に記入すること。 第 1 群 建築設計課題 (4 時間) 第 2 群 建築計画・建築史・構法系課題 (3 時間) 第 3 群 建築環境系課題 (3 時間) 第 4 群 建築構造・建築材料系課題 (3 時間)

※外国語・専門科目（専門課題 I・専門課題 II）のすべてを受験しないと失格になる。

(B) 口述試験

一人当たり数分程度の面接を行う。面接の使用言語は日本語または英語とする。

5. 試験日程

試験科目	日 時	試験場	携行品	備考（重要）	
(A) 筆記試験	英語	8月28日（月） 9:00～11:30	受験票発送時に外国語試験会場案内を同封する。	筆記用具	TOEFL（ITP）で実施する。 但し、出願時点でTOEFLのスコアを既に持つ者は出願時にスコアの証明書を同封し、これにかえることができる。その場合、本TOEFL（ITP）を受験することはできない。
	専門課題Ⅰ	8月29日（火） 9:00～12:00	2号館 （他）	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、三角定規	
	専門課題Ⅱ 第1群	8月30日（水） 9:00～13:00	1号館 製図室 （他）	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、T定規、物差、着色用具、三角定規	設計用紙はA1版
	専門課題Ⅱ 第2群 第3群 第4群	8月30日（水） 9:00～12:00	2号館	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、三角定規	
(B) 口述試験 （面接）	9月1日（金） 9:00～14:00	1号館 及び 11号館		集合場所・時間等の詳細は前日（12:00）に当専攻事務室前に掲示する。	

6. 注意事項

末尾の入学試験受験者心得をよく読んでおくこと。

建築専門科目は試験開始後30分を過ぎての入室は、いかなる事情があっても認めない。

建築学専攻の指導教員と専門領域の一覧（教員名は五十音順）

教員名	所 属	専 門 領 域
赤司泰義 教授	工・建	建築熱環境・空調設備、建築・都市エネルギー
今井公太郎 教授	生 研	建築計画・建築設計・都市解析
伊山 潤 准教授	工・建	鋼構造・耐久性工学・地震波動解析
大岡龍三 教授	生 研	都市・建築環境工学(熱・空気・エネルギー)・サステナブルエンジニアリング
大月敏雄 教授	工・建	建築計画・住宅地計画・ハウジング・復興デザイン
加藤耕一 准教授	工・建	西洋建築史・西洋近代建築史
加藤道夫 教授	総文研	近代建築に関するデザイン理論(デザイン史)
壁谷澤寿海 教授	震 研	耐震工学・地震工学・鉄筋コンクリート構造
川口健一 教授	生 研	構造解析・空間構造工学
川添善行 准教授	生 研	建築意匠・風景論
菊本英紀 講師	生 研	都市・建築環境、環境制御工学
北垣亮馬 講師	工・建	資源循環工学・建築材料設計工学・建築材料工学
楠 浩一 准教授	震 研	耐震工学・強震観測・鉄筋コンクリート構造
隈 研吾 教授	工・建	建築意匠・建築設計論
瀬瀬一起 教授	震 研	地震工学・応用地震学
腰原幹雄 教授	生 研	木質構造・建築構法
権藤智之特任准教授	工・建	建築生産・建築構法
坂本慎一 准教授	生 研	建築音響・騒音制御
塩原 等 教授	工・建	鉄筋コンクリート構造・耐震工学
高田毅士 教授	工・建	信頼性工学・耐震工学・設計工学・計算力学・リスク評価
田尻清太郎 准教授	工・建	耐震工学・鉄筋コンクリート構造
千葉 学 教授	工・建	建築意匠・都市空間デザイン
中埜良昭 教授	生 研	耐震工学、鉄筋コンクリート構造、地震・津波防災
西出和彦 教授	工・建	建築計画・特に人間の心理・行動に基づく計画理論
野口貴文 教授	工・建	建築材料学・建築防火工学・耐久設計・維持保全・資源循環
林 憲吾 講師	生 研	アジア近現代都市・建築史、アーバンサステナビリティ学
平手小太郎 教授	工・建	建築光環境・視環境、建築環境心理・生理、建築・都市環境計画
藤田香織 准教授	工・建	木質構造・伝統構法
本間裕大 講師	生 研	建築計画・都市解析・社会システム工学
前 真之 准教授	工・建	建築環境 特にサステナブル住宅のデザインと要素技術開発
松田雄二 准教授	工・建	建築計画、医療福祉施設計画、ユニバーサルデザイン
村松 伸 教授	生 研	グローバル都市・建築史、地域・都市・建築保全学
野城智也 教授	生 研	建築生産・マネジメント、サステナブル建築、BIM及び建築用IoT
横山ゆりか 教授	総文研	建築計画、環境行動・環境心理学、設計方法論

(注) 工・建：工学系研究科建築学専攻 本郷
 震 研：地震研究所 弥生
 生 研：生産技術研究所 駒場Ⅱ
 総文研：大学院総合文化研究科 駒場Ⅰ

平成30(2018)年度 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得

1. 試験日

平成 29 年 8 月 28 日(月)～9 月 1 日(金)

(各科目等の試験時間・場所の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内書」を参照すること。)

2. 試験場

東京大学大学院工学系研究科(東京都文京区本郷 7-3-1)試験場案内図参照

- (1) 各自が受験すべき科目の試験室については、平成 29 年 8 月 25 日(金)午前 10 時に工学系研究科掲示板及び各専攻掲示板に掲示するので、予め試験室を確認しておくこと。また、各専攻の掲示板等も必ず確認すること。

TOEFL ITP 試験を受験する者は、別紙「外国語試験(TOEFL ITP)受験案内」も参照すること。なお、受験者によっては、外国語試験(TOEFL ITP)と一般教育科目(一般学術)及び専門科目(専門学術)の試験室が異なる場合があるので、注意すること。

- (2) 受験者は、試験開始時刻の 15 分前までに所定の試験室に入室すること。なお、専門科目(専門学術)試験については、専攻において別に指示することもある。

3. 携行品

- (1) 受験票
- (2) 黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)、時計(計時機能だけのもの)
- (3) 携帯電話等の電子機器類は、試験室入室前にアラームの設定を解除した上で電源を切り、カバン等に入れ、身につけないこと。携帯電話等を時計として使用することは認めない。
- (4) 専門科目(専門学術)試験の携行品については、専攻において別に指示することもある。

4. 一般教育科目(一般学術)試験時の留意事項

- (1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室を許さない。
- (2) 試験時間中、受験票を常に机の上に置くこと。
- (3) 一般教育科目(一般学術)試験においては、解答用紙ごとに受験番号を記入すること。氏名は書いてはならない。1 問ごとに必ず 1 枚の解答用紙を使用すること。書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。試験終了後、解答用紙上部の指定箇所を正しく切り取ること。
- (4) 解答用紙及び問題冊子は、持ち帰ってはならない。

5. 博士課程第 2 次試験

博士課程第 2 次試験は、原則として平成 30 年 1 月下旬から 2 月中旬とし、期日・場所は追って通知する。

6. その他

- (1) 合格者は、平成 29 年 9 月 7 日(木)午後 4 時、工学系研究科掲示板に掲示する。また、平成 29 年 9 月 8 日(金)までに本研究科 Web サイトに掲示する。Web サイトへの掲載時刻は上記の掲示板への掲示より後となる。(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html> からリンクする。)
- (2) 合格者については、翌日付で、合格通知書を本人あてに郵送する。電話、FAX、メール等による合否の照会には応じない。
- (3) 出願以後において、現住所、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに届け出ること。
- (4) 問合せ先：東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム(03-5841-6038、7747)

Notice for Examination ~The 2018 Master's / Doctoral Program Graduate School of Engineering the University of Tokyo~

1. Examination Dates

Examinations will be held over five days, from August 28 (Monday) through September 1 (Friday), 2017.

(For details on times and location of the examination subjects, refer to "Guide to Entrance Examination" of the department you are applying to.)

2. Examination Location

Refer to the "Campus Map for the Examination" [see the attached paper].

(1) The actual place of the examination subjects for applicants will be posted on the bulletin board for School of Engineering and each department at 10:00 a.m. on August 25 (Friday), 2017.

Confirm the specified place for the examination subjects beforehand. In addition, confirm the bulletin board for the department you are applying to.

Applicants registered for the examination of TOEFL ITP must refer to the "Guide for Applicants Taking the Examination of TOEFL ITP" [see the attached paper]. Note that the examination room of TOEFL ITP, Regular education subjects(一般教育科目(一般学術)), and specialized subjects(専門科目(専門学術)) may differ.

(2) Applicants should arrive at the specified place for the examination subjects 15 minutes prior to the scheduled examination time.

For the examination of specialized subjects(専門科目(専門学術)), also refer to notice by the department you are applying to.

3. Items to Bring

(1) Examination admission card

(2) Black pencils (or black mechanical pencils), an eraser, a pencil sharpener (a desktop type is not allowed) and a watch (only with a time measurement function is allowed).

(3) **Use of electronic devices such as cell phones is strictly prohibited throughout the examination, even if you only use it as a watch. Make sure to completely deactivate the alarm setting, turn off the phone power, and put it in your bag before you enter the examination room. Do not take it out in the examination room.**

(4) For the item to bring for the examination of specialized subjects(専門科目(専門学術)), refer to notice by the department you are applying to.

4. Notice during Examination of Regular Education Subjects (一般教育科目(一般学術))

(1) Applicants can not leave the examination room after the start of the examination.

(2) The Examination admission card must be kept on your desk at all times during the examination.

(3) For the examination of regular education subjects(一般教育科目(一般学術)), applicants must write his/her examinee number on each answer sheet, not his/her name. Applicants must use one answer sheet for each problem. Applicants can use the reverse side if necessary. At the end of the examination, follow your proctor's instructions and carefully tear off the designated places.

(4) Applicants can not take away the answer sheets and the problem booklets after the examination.

5. The Secondary Examination for Applicants to the Doctoral Program

The secondary examination will be held between late January and mid-February, 2018.

Applicants will be advised of Examination dates and location regarding secondary examinations for the department you are applying to later.

6. Miscellaneous

(1) The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the School of Engineering bulletin board at 4:00 p.m. on September 7 (Thursday), 2017.

The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the web site of the School of Engineering by September 8 (Friday), 2017, as well. It will be next from the post time to the bulletin board mentioned above. (The page will be linked from <http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html>).

(2) Successful applicants will be notified of authorization for admission by mail from the day following the announcement of successful applicants. The School will not accept telephone calls, fax, e-mail, and other inquiries regarding the results of the examinations.

(3) After the application process is complete, applicants must report immediately in case of change of current address or contact.

(4) For inquiries, contact: Graduate School Team, Administrative Division, School of Engineering, the University of Tokyo (03-5841-6038,7747)

試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
 Campus Map for the Examination
 (Hongo campus, the University of Tokyo)

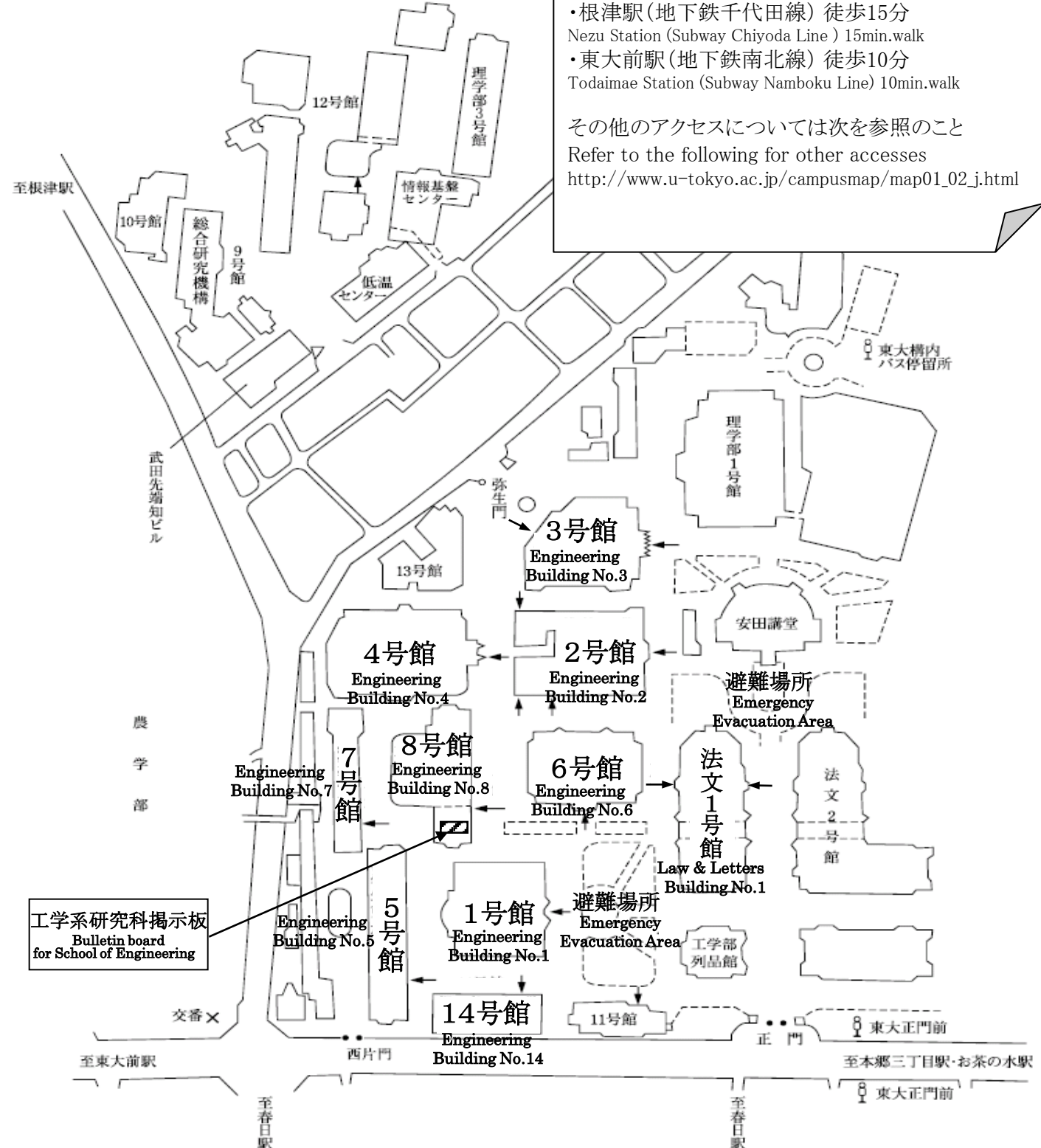
地下鉄利用 Subway

- ・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- ・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- ・根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- ・東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと

Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html



工学系研究科掲示板
 Bulletin board
 for School of Engineering

至根津駅

武田先端知ビル

農学部

交番

至東大前駅

西片門

至春日駅

14号館
 Engineering Building No.14

避難場所
 Emergency Evacuation Area

Law & Letters
 Building No.1

法文1号館

避難場所
 Emergency Evacuation Area

安田講堂

3号館
 Engineering Building No.3

弥生門

13号館

4号館
 Engineering Building No.4

8号館
 Engineering Building No.8

7号館

5号館
 Engineering Building No.5

1号館
 Engineering Building No.1

避難場所
 Emergency Evacuation Area

工学部
 列品館

11号館

至本郷三丁目駅・お茶の水駅

東大正門前

至春日駅

正門

東大橋内
 バス停留所

理学部1号館

理学部3号館

情報基盤
 センター

低温
 センター

12号館

9号館

総合研究機構

10号館